

大府市制 55 周年記念事業 「高橋養鶏賞 50 周年記念式典」を開催します！

大府市は、高橋広治（タカハシ ヒロジ）氏が創設した「高橋養鶏賞」の 50 周年を記念した式典を、公益社団法人愛知県畜産協会（高橋養鶏賞顕彰事業の事務局）との共催で開催します。高橋氏は、現在の大府市梶田町にあった「日本家禽（カキン）研究所」などで養鶏の研究・技術普及に生涯を捧げ、後に「養鶏王」と称された大府市が誇る偉人です。

この式典は市制 55 周年記念事業の一環として行い、鶏卵について学ぶ講演会やパネル展も同時に開催することで、高橋氏の功績を広く市内外に発信します。

■「高橋養鶏賞 50 周年記念式典」の概要

日時／2025 年 8 月 29 日（金）

第 1 部：記念式典 午後 1 時 30 分～午後 2 時 30 分（予定）

第 2 部：記念講演 午後 2 時 30 分～午後 4 時（予定）

場所／大府市役所地下多目的ホール（大府市中央町 5-70）

主催／公益社団法人愛知県畜産協会・大府市

出席者／岡村秀人（オカムラ ヒデト）大府市長

川上万一郎（カワカミ マンイチロウ） 愛知県畜産協会理事長 他

内容／第 1 部：市長・理事長あいさつ、高橋広治氏の功績紹介

大府市養鶏農家 花井養鶏・花井千治（ハナイ チハル）氏あいさつ

第 2 部：記念講演『鶏卵を取り巻く情勢について（仮）』

講演者 JA 全農たまご株式会社 東日本営業本部 第 1 営業部
部長 寺本 直人（テラモト ナオト）氏

対象・定員／一般・100 人程度

参加費／無料

申込／大府市公式ウェブサイト・電話（0562-45-6225）または農業振興課窓口へ。

※7 月下旬から受付開始予定

■「高橋養鶏賞 50 周年記念パネル展」の概要

日時／2025 年 8 月下旬～9 月上旬

場所／大府市役所 1 階市民健康口ビー（大府市中央町 5-70）

展示品／高橋広治氏の功績を紹介するパネル 他

※上記イベントの内容は発表現在のものです。

■ 高橋広治氏の功績と高橋養鶏賞について

1885年生まれ。1907年に愛知県立農事試験場に奉職後、1922年に退職し、現在の大府市梶田町に「日本家禽^{かきん}研究所」を開設。

養鶏に関する研究に加え、名古屋コーチンの多産改良・雄雌を判別する鑑別師の養成、養鶏講習会を開催するなど、養鶏の技術の普及に全力を捧げ、1979年に他界するまで大府の地で養鶏の普及に尽力し、屋外にケージを設置して鶏を飼養する「青空養鶏」の普及に努めました。

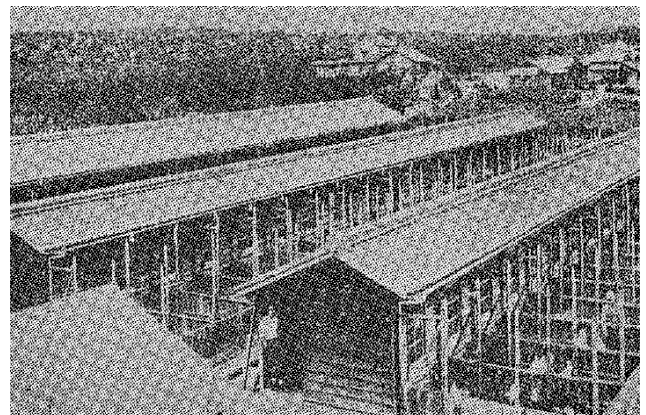
高橋氏の養鶏技術は、国内に留まらず、ブラジルにおいても広く普及し、世界的な養鶏者として知られています。



【高橋広治氏肖像写真】

これらの養鶏の研究と普及、後進の指導に捧げ、農業の近代化に尽くしてきた業績が認められ、国内では1955年に黄綬褒章^{おうじゅほうしょう}を、1965年に勲四等瑞宝章^{くんよんどうずいほうしょう}を授与され、国外では1970年にはブラジル政府から産業功労賞が授与されています。

1975年に、養鶏の向上発展に寄与し、顕著な業績をあげた者に顕彰することを目的とし、私財を基に「高橋養鶏賞財団」を設立。2003年からは、愛知県畜産協会が同財団の設立趣旨を継承して、養鶏関係者に対する顕彰事業を継続し、2025年に50周年を迎えました。このたび、高橋氏ゆかりの地である大府市と愛知県畜産協会との共催で50周年式典を開催することとなりました。



【大府市梶田町の日本家禽^{かきん}研究所鶏舎】

※出典『養鶏に一生を捧げた私の体験』高橋広治著

【問い合わせ先】

大府市農業振興課

担当：坂野晴仁（バンノ ハルヒト）、青木翔一郎（アオキ ショウイチロウ）

電話：0562-45-6225 FAX：0562-47-7320 メール：noshin@city.obu.lg.jp